



## 町会に新風をもたらす新進気鋭な次期町会長候補者を募集！

今日から師走に入り、今年もあと僅かとなりました。町会の運営、諸行事も皆様のご支援とご協力により円滑な推進を図ることができましたことを、執行部一同心から深く感謝申し上げます。

毎年この時期に次期町会長候補者を募集しているところですが、積極的に応募する方が皆無であるため、候補者選出は難航を極めていることはご承知のとおりであります。

平成18年度第44回定期総会において決定された「町会長選出等に関する申し合わせ事項」により、「町会長の任期は、規約どおり1年交代とし、本人の留任希望があった場合でも2年を限度とする。」としているところですが、現実はこの趣旨と程遠い状況が続いています。

昨年は、町会長候補者推薦の会（中川重次会長）から、荒屋会館建設工事施行中であり完成まで現町会長が責任を全うすべきであると申し入れがあり、やむを得ず道義的に推薦に同意された経緯がありますが、就任から5年も経過すると、町会運営や活動がマンネリ化の弊害が表面化することは否めず、新進気鋭な新人に新風をもたらす刷新していただく必要があります。

その一方、町会長選出等に関する申し合わせ事項では、「町会長候補者は、各ブロック持ち回りで選出する」としているところですが、町会が当面している課題に積極的に取り組む意欲のある方を優先すべきと考え、下記のとおり、候補者を自薦他薦を問わず募集しますので積極的に応募されますようお願いいたします。

なお、応募者がなかった場合は、1ブロックの副会長を中心として、ブロック内各班長と協議のうえ候補者を選出することとなりますのでご了承ください。

### 記

応募締切：平成22年12月22日（水）午後5時

届出先：各担当ブロック長

届出方法：立候補者本人又は推薦者（候補者の了解を得た者に限る）からの電話もしくは任意の届出用紙による

## 2 学童下校時の交通安全見守りにご協力をお願いします

ちさか地域安全パトロール隊は、校下の各町会相互で協力し、校下全域の主要交差点の横断歩道において学童の登下校時の安全見守りを行っているところであり、当町会は毎日2箇所2人体制で下校時の安全見守りを行ってきました。

現在、23名がパトロール隊員として登録されていますが、仕事に就かれた方や体調を崩された方等が数名に上っているため、原則週1回のパトロール当番が週2回となる人が複数出しており、原則を維持できず憂慮すべき状況となっています。

町会はこれまで、その窮状を皆さんに訴えご協力をお願いしてきましたが、新たな協力者が殆どないため、隊員の皆さんの負担が大きく非常に苦慮しているところです。

高齢者が突出して多い吾が町会としては、他の町会に劣らない隊員確保に注力しなければならないと考えられるため、児童の保護者はもとより、在宅高齢者の皆さんに地域の安全・

安心の確保に今一度ご理解を深めていただき、是非とも隊員登録にご協力いただきますよう心からお願いいたします。

なお、内閣府が発行した国民生活白書（平成19年版）において、「地域に期待されている防犯・治安の役割」を末尾に掲載しましたのでご参考ください。

ご理解ご協力をいただける方は、下記の担当者にご連絡くださるようお願いいたします。

ちさか地域安全パトロール隊 荒屋団地責任者 中川重次（258-3362）  
又は町会長 中屋保雄（257-6691）

### 3 家族に異動のあった世帯はご連絡ください

町会は昨年5月、防災対策を強化するために住民票を再整備しましたが、それ以降に家族の異動（出生・転入・転出等）があった世帯は、異動のあった方の氏名（ふりがな）続柄・性別及び生年月日をメモして、ブロック担当の副会長までお知らせ下さるようご協力をお願いいたします。

### 4 ごみ出しルール違反行為について

ごみ出しルールについては、違反のあった都度、皆さんのルール遵守に対するお願いと、悪質な違反ごみは徹底的な内容物調査を行い、違反者を特定し厳重な注意を行っているところですが、去る11月13日（土）から14日（日）にかけて、15班用水ごみ置き場に違反生ごみが出され、かつ、シートもかけられなかったため、路面の広範囲に亘り散乱し清潔な環境が破壊される事態が発生しました。

散乱したごみは、見るに見かねた人により清掃されましたが、違反者の特定には至りませんでした。違反ごみの心当たりのある方の猛省を求めます。

#### おくやみ

8班の前川芳明さん(86才)が11月18日に死去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 【参考資料】平成19年版・国民生活白書(内閣府発行)より抜粋

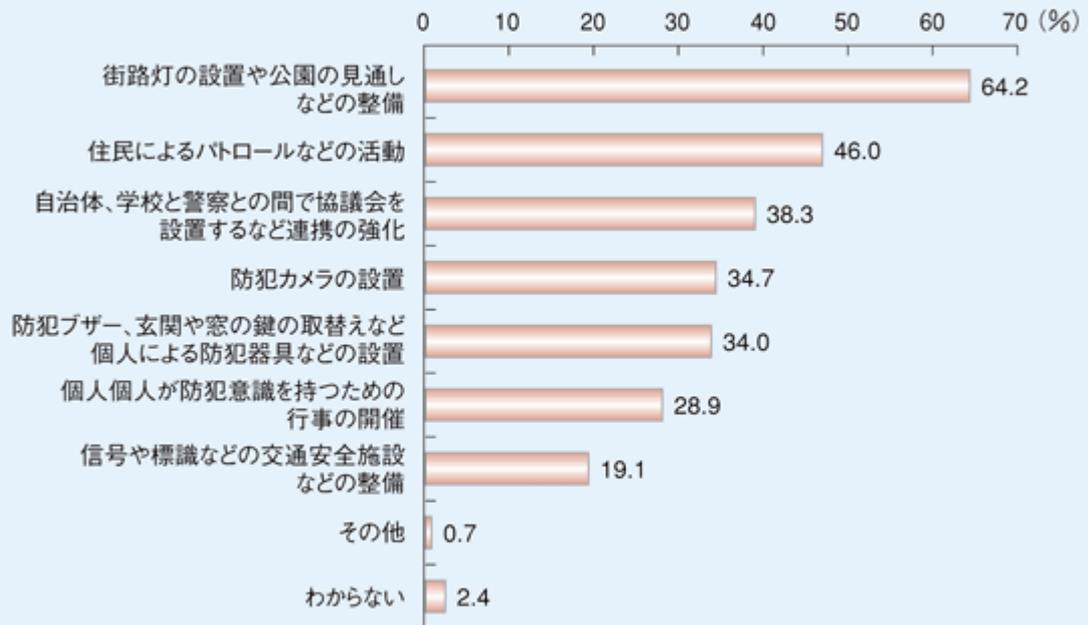
### 地域に期待されている防犯・治安の役割

では防犯・治安に関し、地域に対して人々はどのようなことを期待しているのだろうか。安全で安心な地域社会を実現するために効果的な地域の取組について尋ねたところ、「街路灯の設置や公園の見通しなどの整備」(64.2%)といった施設面の整備に次いで、「住民によるパトロールなどの活動」(46.0%)といった地域のつながりを基礎とする活動が続いている(第2-2-15図)。

第2-2-15図

## 地域の連携が必要と考える人の割合が高い

## 安全で安心な地域社会を実現するために必要な取組

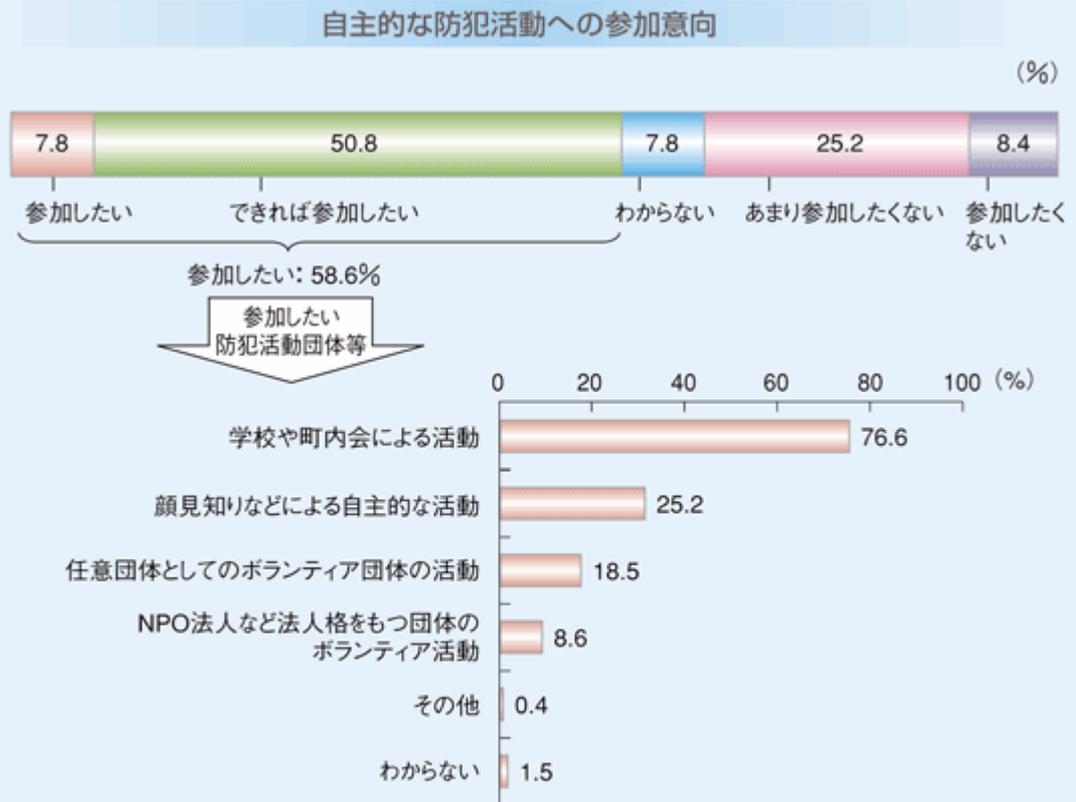


- (備考) 1. 内閣府「治安に関する世論調査」(2004年)により作成。  
2. 「あなたは、安全で安心な地域社会を実現するための地域の取組みとして、どのようなものが効果的だと考えますか。この中からいくつでもあげてください。」という問に対して、回答した人の割合。  
3. 回答者は、全国の20歳以上の者2,097人。

さらに、自らは自主的な防犯活動へ参加したいか尋ねたところ、58.6%の人が「参加したい」(「できれば参加したい」を含む)と回答している(第2-2-16図)。そして、参加したい具体的な団体などとしては「学校や町内会による活動」を挙げる人が76.6%に上っており、地域に密着した団体を通じて活動することを望む人が多いことが分かる。

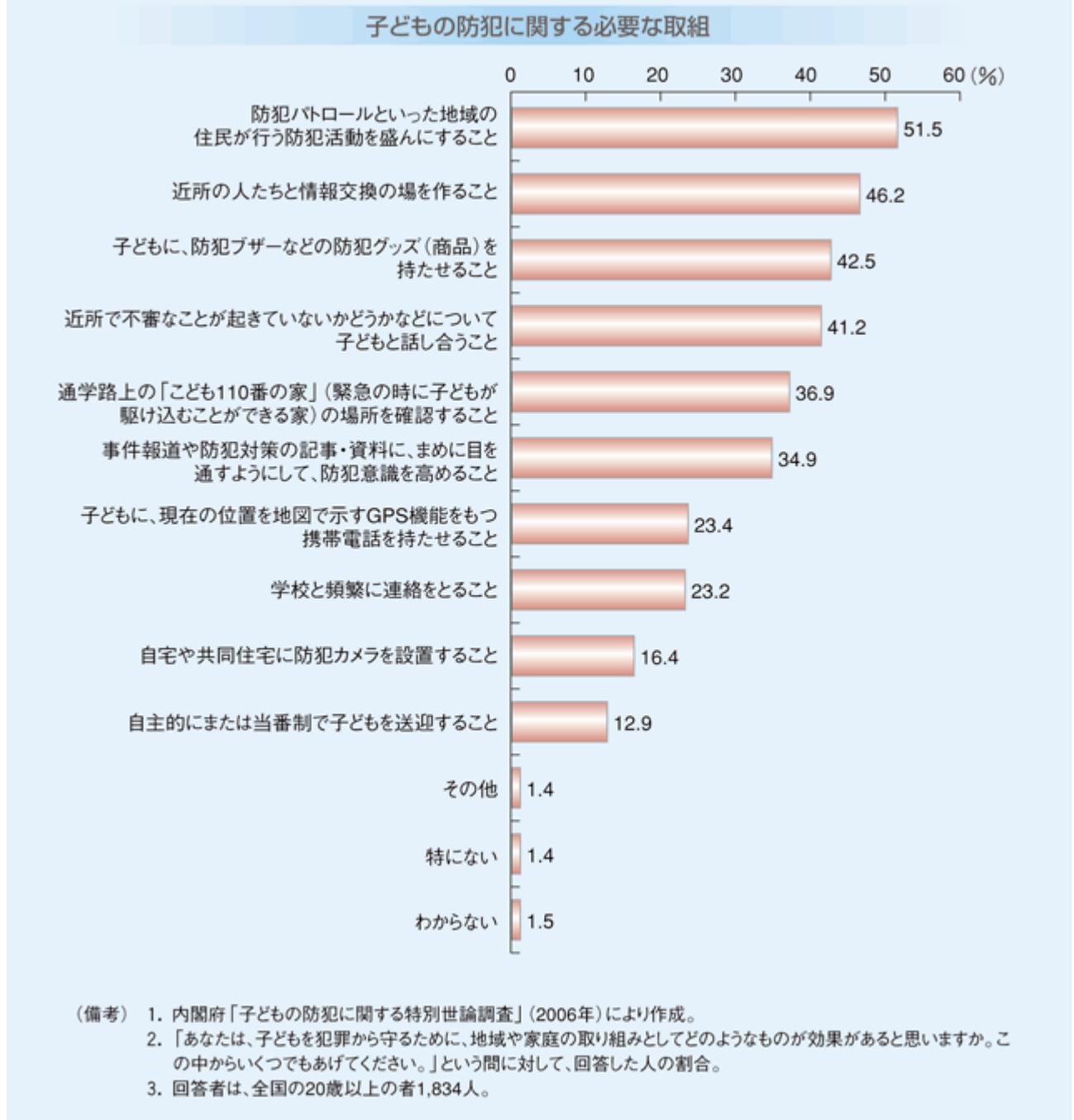
第2-2-16図

学校や町内会による防犯活動に参加したい人が多い



- (備考) 1. 内閣府「治安に関する世論調査」(2004年)により作成。  
 2. 「近年、都市化や核家族化により地域の連携が希薄化し、犯罪や青少年非行を防止する社会環境の機能が低下しているため、地域住民やボランティア団体が自主的なパトロールや防犯活動を行い、犯罪や青少年非行が起こりにくい、安心して安全なまちづくりをしていく必要があるといわれています。あなたは、こうした自主的な防犯活動に参加したいと思いますか。この中から1つだけお答えください。」という問に対して、回答した人の割合。  
 3. 回答者は、全国の20歳以上の者2,097人。  
 4. 上記2.で「参加したい」または「できれば参加したい」と答えた人に、「どのような団体などの防犯活動に参加したいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と尋ね、回答した人の割合。

次に、子どもを犯罪から守るための家庭や地域の効果的な取組について尋ねたところ、「防犯パトロールといった地域の住民が行う防犯活動を盛んにすること」と回答した人が51.5%、「近所の人たちと情報交換の場を作ること」と回答した人が46.2%と、地域のつながりに基づく取組が必要と考える人が多いことが分かる(第2-2-17図)。



地域のつながりが希薄化したことによって、地域の治安が悪くなったと思う人の割合が高い中、地域のつながりに基づく活動が、地域の防犯・治安の向上に効果的と考える人は多い。そして、地域の自主的な防犯活動に参加したいという人も多い実態を踏まえると、前節で見たような地域活動への参加の障壁を解消しながら、参加意欲のある人を迎えて地域のつながりを深めることで、地域の防犯・治安機能を向上させることができるだろう。さらには、先で見た地域における子どもの交流を阻害する一つの要因を解決することにもつながり、これによって地域の教育力の向上にもつながる可能性があると言える。